

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		協力会社名	-																		
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	鈴木 悠平																		
作業名称	コンクリートキャンバス設置工	作業手順書	作成年月日	令和4年8月1日																		
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	4tユニック、動力噴霧器		協力会社店社確認	自筆サイン																		
使用工具 機器 (大きさ太さ等は 具体的な寸法を 記す)	石頭ハンマー、アンカーピン、シーリング、杭(安全対策用)、タンク、インパクトドライバー ハンマードリル、カッター、コーキングガン、タッピングビス		元請確認	自筆サイン																		
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、手袋(刃物作業時は耐切削用)、安全帯、親綱、ロリップ		改正年月日																			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す			<p>作業順序</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>準備作業</td></tr> <tr><td>2</td><td>設置位置確認</td></tr> <tr><td>3</td><td>コンクリートキャンバス設置</td></tr> <tr><td>4</td><td>散水</td></tr> <tr><td>5</td><td>後片付け</td></tr> <tr><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td></tr> </table>		1	準備作業	2	設置位置確認	3	コンクリートキャンバス設置	4	散水	5	後片付け	6		7		8		9	
1	準備作業																					
2	設置位置確認																					
3	コンクリートキャンバス設置																					
4	散水																					
5	後片付け																					
6																						
7																						
8																						
9																						
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 4人 合計 5名																					
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日																				
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)																					

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスク レベル	ミス・ ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)									
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
現地確認(全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
コンクリート キャンバス設置 (全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	埋設物の確認							
	作業箇所確認し、親綱を設置する。	強度を確認							
	コンクリートキャンバスを重ね代を100mm以上になるよう敷設する。	重量物、足元 手元注意	コンクリートキャンバス運搬時腰を痛める。 コンクリートキャンバスをカットする際、手を切る	△	×	×△	4		重量物のため動線をしっかりと確保し、2人以上で運搬する。 切削手袋を着用し、手元を注意する
	コンクリートキャンバスをアンカーピン、シーリング、タッピングビスで固定する。	手元注意	アンカーピン打ち込み時、誤って手を打つ	△	△	△△	3		手元に注意して作業を行う
散水									
	動力噴霧器を使用しコンクリートキャンバスに4L/m程度散水する	手元注意	過て手の箇所に散水してしまう	△	○	○△	2		目標物を決めて散水する。
片付け									
	清掃	路面に土砂・破片等が残っている 落し物・忘れ物							ほうき、フローア等を使用し、施工範囲を清掃する 周囲を確認し、忘れ物がないか確認する 工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事